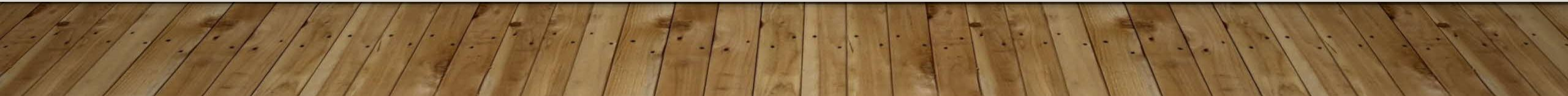


地域医療に携わって感じること

益田赤十字病院 総合診療内科 青木光



自己紹介

- 益田市出身
- 島根大学医学部医学科 卒業
- 医師**7**年目
- 益田赤十字病院 総合診療内科

なぜ医師を志したのか

- きっかけは妹の疾患。
- 生まれ育った地域対して、何か恩返しをしたい。高齢化が進む中で必要とされている職業を考えた時に、医師を目指そうと思った。
- 患者を病気だけでなく、その人の生活全体を支える総合診療医を目指した。

総合診療医って何をしているの？

- 特定の臓器や疾患に限定せず幅広い視野で診察を行う診療科
- より専門的な治療が必要な場合は、各科と連携し治療を進める
- 外来→入院→退院支援→外来

- **全ての領域の高頻度の疾患に対処する**
- **その人の生活全体も診れる医師**

具体的に

	月	火	水	木	金
午前	病棟	外来	胃カメラ	病棟	外来
午後	カンファレンス	病棟	AST カンファレンス	カンファレンス	病棟

- 研修医・学生指導
- 救外からの入院対応
- **RRS**（院内急変の対応）
- 夜間、土日の当直/待機
- 外来業務の予習
- 専門医試験の勉強
- 学会発表 など

地域医療で感じていること

- 患者との距離が近い
- 最初から最後まで診れる
- さらなる高齢化
- 独居、老々介護
- 医療従事者不足

伝えたいこと

- かかりつけ医を持つ
- コミュニティをもつ
- **ACP**（人生会議）をしておく

まとめ

- 地域医療は、医師（病院）だけでなく、患者、家族、医療・介護職、地域住民のみんなで支えるもの
- 益田圏域の地域医療を支えていくためには何が必要かなど常に考えていきたい。